

## 令和2年度日本臨床リウマチ学会 優秀論文賞、優秀査読者賞の表彰

総会で表彰させていただいております優秀論文賞と優秀査読者賞について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、対面での表彰が困難なため、恐縮ではございますが、ホームページ上にて表彰式にかえさせていただきたく存じます。  
受賞者のコメントをあわせてご紹介させていただきます。

令和2年11月29日  
一般社団法人日本臨床リウマチ学会  
理事長 田中 栄

### 臨床リウマチ優秀論文賞

大村 知史先生 京都第一赤十字病院 リウマチ膠原病センター  
「高齢者の要介護状態にみられる関節リウマチの影響  
～HAQを低値に抑えることが要介護状態の回避につながる～」  
臨床リウマチ31巻1号掲載

・大村知史先生受賞のことば

この度は、このような賞を頂戴し誠にありがとうございました。  
多忙の中、ご指導下さった福田互先生に深く感謝申し上げます。  
今回の受賞をばねにさらなる研究・論文の執筆に取り組んで  
いきたいと思っております。



近藤 正宏先生 島根大学医学部附属病医院膠原病内科  
「専門医不在地区における病診連携によるRA診療」  
臨床リウマチ31巻3号掲載

・近藤正宏先生受賞のことば

この度は優秀論文賞に選考していただきありがとうございました。  
最適なりウマチ治療を地元の病院で安心して受けることができる  
医療体制の構築を目指し、これからも地域の先生方と一緒に  
頑張っていきたいと思っております。



## 臨床リウマチ優秀査読者賞

亀田 秀人先生 東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野

・亀田秀人先生受賞のことば  
学会誌「臨床リウマチ」の編集委員として日頃多くの先生方に論文査読をお願いしている立場でありながら、今回査読に最も貢献したとの評価をいただきて当惑しています。知らぬ間に自身も総説や原著論文の査読依頼を何度も受諾していたようです。



以上